

「気張ろう！建設業 新春の集い 2014」

を開催しました。

去る1月16日(木)佐賀市のホテルニューオータニ佐賀において、一般社団法人佐賀県建設業協会と佐賀県建設産業団体連合会の共催で「気張ろう！建設業 新春の集い 2014」を開催しました。

当日は、県協会員・建産連団体会員



と、佐賀

県知事・佐賀県選出国會議員・各市町長・佐賀県議會議員等の来賓を併せて約330名が参集しました。

この会は、公共事業予算の削減や入札制度改革など建設業を取り巻く厳しい環境をしっかりと受止め、災害対応やインフラの整備・維持補修等、県民の安心安全を守るという社会的役割を果たすため、関係者が一堂に会し、団結力と存在感をアピールする事を目的として行なっており、今年で3回目となります。



古川知事



岩田代議士

まず、岸本会長が「昨年、公共投資が増加した中、これまでの規模縮小の影響で技能者や技術者の不足が顕在化した。ものづくりの技能・技術の継承が困難になっている現状を踏まえ、県内の建設関連団体が一致団結し課題克服に取り組んでいきたい。」と挨拶を行ないました。

続いて来賓から挨拶を頂き、古川康佐賀県知事から「産業政策として建設業を息長く地域で必要な存在に位置付ける必要がある。佐賀県のような所では、建設業は地域社会にとって重要な存在であるため、安心して仕事ができる環境整備に取り組みたい。」との挨拶を頂きました。



岸本会長



木原議長



山下参議

その後、木原奉文佐賀県議會議長から「県議会と建設業界は一体となって活動していく。」との力強い激励があり、岩田和親衆議院議員の乾杯の音頭で懇談へと移りました。

後半は、皆様から持ち寄って頂いた商品を中心としたお年玉抽選会を行ない、最後に、昨年7月に初当選を果たした山下雄平参議院議員の発声で「ガンバロー三唱」を行ない、盛会の内に閉会しました。